

# シルクロードの終着の都から、世界の非核平和を「つどい」へのご参加を奈良でお待ちしています

## 第21回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい in 奈良

今年5月に開催されたNPT再検討会議では、合意文書が得られなかった前回の苦い経験を乗り越え、核兵器削減から廃絶に向けて前進できるよう参加各国政府をはじめ、NPO、市民の努力によって前進をもつ合意文書を採用しました。ニューヨークまで出向いた参加者からの報告はいずれも明るい声で語られています。

このようななか、今年9月18・19日、奈良市で「第21回核戦争に反対し、核兵器廃絶を求める医師・医学者のつどい in 奈良」を開催します。

「核なき世界」をめざすと述べた昨年のオバマ米大統領のプラハ演説は、米国の核戦略が大転換したと手放しに喜べるものではありませんが、核廃絶をもとめ世界各地で地道にその運動を進めてきた多くの方々の願いを背に受けたものでもあり、核超大国トップの明確な前向きメッセージとして、世界中から歓迎されました。



第21回つどい実行委員長 峯 克彰

今年も医師・医学者だけ

### ●プログラム●

**9/18(土) 奈良女子大学講堂 / 奈良ロイヤルホテル**

12:30 開場

13:00 **記念企画** ●佐々木梅治  
芝居・読み語り「父と暮らせば」  
(作・井上ひさし)

14:45 **仏教者の挨拶** ●薬師寺・安田暎胤長老

15:05 **記念講演** ●ティルマン・アルフレッド・ラフ  
「NPT再検討会議とICAN運動  
—核兵器禁止条約の実現を—」

奈良ロイヤルホテルへ移動

17:30 **全体会**

19:00 **レセプション**



佐々木 梅治 ●ささき うめじ

1973年、劇団民芸入団。近年では「夜明け前」「子午線の祀り」(共に新国立劇場)、「山上様のおくりもの」(わらび座公演)などに出演。その他、声優として韓国ドラマ「オール・イン」「チャングムの誓い」にレギュラー出演するなど、役柄によって多彩な声を聞かせている。



安田 暎胤 ●やすだ えいいん

薬師寺長老、岐阜地蔵寺住職、(財)世界宗教者平和会議日本委員会常務理事、日中韓国際仏教交流協議会常任副理事長、国際仏教興隆協会理事長。昭和38年宗教者平和使節団員としての、ヨーロッパ各国の宗教者との懇談を皮切りに「世界平和」を願い、各国を訪れている。



ティルマン・アルフレッド・ラフ ●Dr. Tilman Alfred Ruff

IPPNW(核戦争防止国際医師会議)オーストラリア前代表。メルボルン大学ニューソッカル世界保健研究所助教授。オーストラリア赤十字国際局医療アドバイザー。太平洋諸島諸国における防疫計画に関し、オーストラリア国際開発庁、ユニセフ、世界保健機構のテクニカルアドバイザーを務める。ICAN(International Campaign to Abolish Nuclear Weapons)運動を推進する。



富田 宏治 ●とみた こうじ

2006年、安齋育郎氏の後をうけ、原水爆禁止世界大会起草委員長に就任。名古屋大学在学中の1978年以来、毎年8月6日、9日の広島・長崎に身を置く。



川崎 哲 ●かわさき あきら

NGOピースポート代表  
NGOピースポート共同代表。2008年「9条世界会議」では日本実行委員会事務局局長をつとめる。日豪政府による「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」のNGOアドバイザー。著書に「核拡散」(岩波新書)など。



片岡 勝子 ●かたおか かつこ

JPPNW事務総長  
JPPNW(核戦争防止国際医師会議日本支部)事務総長。広島大学名誉教授。平成16年～IPPNW副会長・理事(北アジア地区代表)、平成19年～IPPNW日本支部事務総長、現在に至る。

**9/19(日) 奈良女子大学講堂**

9:30 開場

10:00 **市民公開シンポジウム**  
「世界の平和に向け、奈良から第一歩を踏みだそう」  
奈良の被爆者からの発言  
◆パネリスト  
「NPT再検討会議後の展望」 ●富田宏治  
「NPT再検討会議後の市民運動の役割」 ●川崎 哲  
「核兵器廃絶に向けて。被爆国日本・被爆地ヒロシマの医師として」 ●片岡勝子

12:30 **まとめの全体会**

13:00

**反核**

**医師の会**

ニュース

第45号  
2010年7月31日

Physicians Against Nuclear War (PANW)  
核戦争に反対する医師の会事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5  
新宿農協会館 全国保険医団体連合会内  
電話 03(3375)5121 FAX 03(3375)1885  
e-mail: panw@doc-net.or.jp  
http://no-nukes.doc-net.or.jp/

に限らず、広く市民にも参加いただける企画もご用意しました。初日には井上ひさしさん原作で映画にもなった「父と暮らせば」の読み語り(劇団民芸・佐々木梅治さん)、ティルマン・ラフIPPNW前オーストラリア代表による記念講演。2日目は市民公開シンポジウムで、日本の反核運動の第一線で活躍する方々によるNPT再検討会議後の情勢と取り組みについて語っていただきます。また、歴史ある奈良仏教の教えと文化遺産を守り今日に伝える古刹の一つで、医療者にも縁のある薬師寺から、長老・安田暎胤師(世界宗教者平

和会議日本委員会常務理事)のご挨拶もいただきます。2007年に京都でのつどい開催時、その企画・開催を担ったつどい実行委員会が、近畿各府県の反核医師の会や保険医協会・民医連・IPPNW支部の方々と構成し協力して取り組むなかで、奈良県の関係者により今年10月に「奈良反核医師の会」を結成しました。今回も近畿の仲間と共に実行委員会をつくり準備を重ねています。この取り組みを運動の跳躍台にしたいと願っています。

今年も平城京遷都から1300年。かつて奈良は古代の貿易と文化交流の道・

**会場案内**

1日目記念講演まで / 2日目会場

**国立大学法人奈良女子大学 講堂**  
奈良市北魚屋東町  
●近鉄奈良駅1番出口より徒歩5分  
●JR奈良駅より徒歩20分

1日目全体会 / レセプション会場

**奈良ロイヤルホテル**  
奈良市法華寺町254-1 TEL.0742-34-1131  
●近鉄新大宮駅より西へ徒歩10分

第21回核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい実行委員会 〒630-8013 奈良市三条大路21-10 奈良県保険医協会内 TEL.0742-33-2553 FAX.0742-34-9644  
核戦争に反対する医師の会 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-5-5 新宿農協会館6階 全国保険医団体連合会内 TEL.03-3375-5121 FAX.03-3375-1885

「来世も、再来世でも一緒にいるからね」▼今年3月に結婚した歌舞伎俳優の成田屋・市川海老蔵さんが、タレントの小林麻央さんを口説き落としたりセリフです▼あなたは女房や亭主に言えますか、このセリフ。結婚20年、30年と今は情性で過ごして夫婦生活では、とても相手に「来世も一緒にいるからね」なんて、返事が怖くていえないませんか。まして「再来世も」なんてね。「冗談じゃないわよ。来世はもっと素敵でやさしい思いやりのある方と一緒にいるわ」なんて発せられなくても、心奥底に思われているかもですね。お怖い、怖い▼怖いといえは最も怖いのが核兵器ですね。われらも世界の平和を希求する人々も、広島・長崎での核爆発以来、この世からの核廃絶を願って運動して来ているのですね▼昨年4月5日のチェコ・プラハでのオバマ大統領演説以来、世界は希望と落胆の山谷を揺れ動いています。「核兵器を使った唯一の国として米国には行動する同義的責任がある」「私は、核兵器のない世界の平和と安全を追求する」という米国の約束を明確に、確信をもって言明する。「たぶん私が生きてくる間には達成できないだろう」「おそろしく達成できないだろう」「たぶん」と「おそろしく」の達成確立がどうあれ、来世でもいい、再来世でもいい。とにかく核廃絶までに第2の広島・長崎が起こらないことを願います。

(洋)

### ガンマ線

「来世も、再来世も一緒にいるからね」▼今年3月に結婚した歌舞伎俳優の成田屋・市川海老蔵さんが、タレントの小林麻央さんを口説き落としたりセリフです▼あなたは女房や亭主に言えますか、このセリフ。結婚20年、30年と今は情性で過ごして夫婦生活では、とても相手に「来世も一緒にいるからね」なんて、返事が怖くていえないませんか。まして「再来世も」なんてね。「冗談じゃないわよ。来世はもっと素敵でやさしい思いやりのある方と一緒にいるわ」なんて発せられなくても、心奥底に思われているかもですね。お怖い、怖い▼怖いといえは最も怖いのが核兵器ですね。われらも世界の平和を希求する人々も、広島・長崎での核爆発以来、この世からの核廃絶を願って運動して来ているのですね▼昨年4月5日のチェコ・プラハでのオバマ大統領演説以来、世界は希望と落胆の山谷を揺れ動いています。「核兵器を使った唯一の国として米国には行動する同義的責任がある」「私は、核兵器のない世界の平和と安全を追求する」という米国の約束を明確に、確信をもって言明する。「たぶん私が生きてくる間には達成できないだろう」「おそろしく達成できないだろう」「たぶん」と「おそろしく」の達成確立がどうあれ、来世でもいい、再来世でもいい。とにかく核廃絶までに第2の広島・長崎が起こらないことを願います。



# 地域での反核・平和活動 被爆者の体験談が地域を動かす

埼玉県反核医師の会 大場 敏明(三郷市)



埼玉県の最東端、江戸川隔てて東方は千葉、南側は東京足立区に接して、三つの町(郷)が合併してできた三郷市。その北側にある早稲田に、地域医療を担うべくクリニックを開いて、早や10年が立とうとしている。この間、クリニック3年目から、毎年8月、「原爆写真展」に取り組み、翌

年からは同時に「被爆者の体験を聞く会」を開いてきた。私の人生を振り返れば、40数年前は学生運動に明け暮れ、夏になると原水禁運動に参加し、30余年前の青年医師時代に、千葉民医連の被爆者健診担当の一人になって、被爆者がぐつと身近になったのである。日曜日の集団健診のあと、毎回懇親会がもたれ、被爆体験を聞くにつけ、被爆者の「身体と心、生活」を根底から奪ってしまう原爆の恐ろしさを教わった。20数年

前は、IPPNWの研究活動などから、「核の冬」を知り、もし再び核戦争がおきたら、最悪の環境破壊につながるし、核兵器の製造なども環境を脅かすということから、核兵器廃絶こそ緊急の課題であるとの信念を強めて反核医師運動に参加してきた。「集い」の第一回から今日まで、ほぼ毎回参加し、主催側に席を連ねてきた。

10年前、個人で開業したあと、この早稲田の地での核廃絶運動と平和活動に、灯をつけてくれたのは、パ

キンソン患者の被爆者だった。当初外来通院されていた70代後半の品の良い女性、その後往診管理となり、家族との話しの中で、広島で被爆されていることを知らされたのである。それでは、被爆体験を皆に知らせると、往診2年目の夏に「体験を語る会」をもつことになった。当時車椅子生活の彼女は、パーキンソン症状に加えて、あちこちが痛い、苦しいなど多愁訴で家族を手こずらせ、主治医は診断に頭を悩ませていたので、本当にお話ししていただけるのか実は半信半疑だった。ところが、車椅子で現れた彼女は、曲がり気味の背中をピンと伸ばし、小さい声だがハリのあ



クリニックの隣で開いた「平和の夕べ」。平和への願いを込めてエコバルーンを飛ばした。

る声で、広島での被爆体験をしっかりと語られたので

その体験談をきっかけにして、毎年「原爆写真展」そして「被爆体験語る会」を行うようになったのである。クリニックに隣接した場所を会場として、地域の子供劇場、生協、健康友の会などと共催して、被爆者の会のご協力で、語り部のお話しを聞かせていただ

ている。そこで、地域の皆さんに、原爆の悲惨さを知っていただき、核廃絶と平和擁護を一緒に考えあつてきた。そして昨年8月には、「平和の夕べ」として、ピアノコンサート、バザー、エコバルーンなども新たに催し、平和運動の輪が広がってきている。数年後に亡くなられた車椅子の語り部の、最初で最後だった「原爆は小さくないけれど、平和が大事」との凛とした訴えは、脈々とこの早稲田の地に受け継がれている。

## 日印原子力協定に反対要請

反核医師の会

日本とインドが原子力協定締結交渉を視野に、関係省庁間の調整作業に入っていると報道を受け、核戦争に反対する医師の会は6月25日、菅直人首相、岡田克也外務大臣、直嶋正行経済産業大臣、仙谷由人内閣官房長官に向けて、同協定を締結しないよう要請した。内容は次の通り。

### 日印原子力協定の締結に反対します

日本がインドとの原子力協定締結交渉を視野に、関係省庁間の調整作業に入っていると報道されています(中国新聞6月22日)。

核不拡散条約(NPT)は、核兵器を新たに開発した国に対する民生用原子力開発への協力を禁じています。インドは(NPT)未加盟国ですが、NPTの趣旨から、条約外の国とはいえ、加盟国が事実上核保有国の(民生用であっても)原発建設に協力することは断じて許されない行為であると考えます。この行為はNPTを事実上形骸化し、「核兵器を開発してしまえば勝」という既成事実を作り出すものであり、北朝鮮の核開発を非難する根拠もなくなります。さらに、明らかに「核のない世界」実現に逆行するものです。インドが核兵器を廃棄し非核保有国としてNPTに加盟するまでは、日本がインドの原発建設を含むすべての原子力利用に協力しないよう、日印原子力協定を締結しないよう要請します。

同じ報道によると、岡田外相が共同通信のインタビューで「各国が(対インド協力に)進んでいる時に日本だけが違うことを言って、それがどれだけ意味がある……」と語られています。日本は唯一の被爆国です。各国が違反することと、唯一の被爆国日本が違反するのは、国際社会に与える影響はまったく違うということをお考えください。

私たち核廃絶を願う市民は、新たに鳩山政権が誕生し国連演説での核廃絶に向けての決意などから、今までの自民党政権の口先だけの「唯一の被爆国政府」として「核廃絶の先頭に立つ」ではなく、真剣に「核のない世界」を目指した役割を果たされるものと期待してきました。

8月、菅首相は広島・長崎での慰霊式典では被爆者の御霊の前で核廃絶に向けて挨拶をされることと思います。どうか、被爆者の「私たちの命ある間に核廃絶を」という願いを裏切るような決定をしないでください。

### 書評

以前、宮部みゆきの「イコ 霧の城」を読んだことがある。闇の魔神が支配するファンタジーな世界が描かれている。私には、この魔神が支配する世界と、今の日本の現実が重なって見えてきたが、普天間問題で政権を投げ出した鳩山首相も「学べば学ぶほど、沖縄の海兵隊が抑止力を維持していることが分かった」と、「洗脳」されてしまった。

「闇の魔神」は、「日米安保条約が戦後の日本の平和を守ってきた」、「日本の米軍基地は日本の防衛に役だっている」「引き継ぎ日本の平和を守るために、国内に普天間の機能は必要だ」などという強力な呪縛を、日本国民に対して広めている。

安保破棄中央実行委員会

### 「普天間問題と安保50年」

「日米安保条約が戦後の日本の平和を守ってきた」、「日本の米軍基地は日本の防衛に役だっている」「引き継ぎ日本の平和を守るために、国内に普天間の機能は必要だ」などという強力な呪縛を、日本国民に対して広めている。これは、日本の常識で世界の非常識だ。アメリカの核の傘の下にある日本は、核兵器保有国となされる。

アメリカの世界戦略の一環として組み込まれる日米安保条約のそのものが、日本の平和と安全を脅かすことになる。このブックレットを広げることが、「闇の魔神」の呪縛を解く大きな力になるはずだ。



石川(城北病院) 原和人







# 各地の反核医師の会から

## 詩人が語る

### 核兵器廃絶と憲法の力

愛知

#### アーサー氏が講演

核戦争に反対する医師の会・愛知は、5月22日(土)の午後、協会伏見会議室で28周年記念講演会を開催。医師と市民ら百人余りが参加した。

講師のアーサー・ビナード氏は、日本で活躍している詩人でエッセイスト。豊かな日本語表現とユニークな鋭い視点で、「詩人が語る―核兵器廃絶と憲法の力―産婆になりましょう」と縦横に語った。科学者のワインバーガー氏の言葉を引



講演する  
アーサー・ビナード氏

用して、「専門家」の役割

は「小さな失敗」を器用に回避して大きなウソの世界に国民を導くこと。日米両政府のごまかしのせいで、両国民の間に起きている核兵器や基地をめぐる認識のズレと共通点など、次のように述べた。

悪の終末を避けるためには、核兵器廃絶しかないの理由は、核持ちクラブ(核保有国)が儲かる道を手放したくなくて長引かせているからだ。

日本では、「アメリカが怒っている」と政府もマスコミも騒ぐ。しかしアメリカで普通の人々は、沖縄も普天間基地問題も何も知らないし、怒ってなどいない。マスコミが載せないし人々は関心もないからだ。日本政府がやるべき事は、アメリカでその真実を正面から語ることではないか。そうすれば、膨大な軍事費で苦しめられているアメリカ人とは理解し合えるはずだ。

一握りの人々の儲けの口実に騙されるのでなく、皆が真実を知り命と平和を守る産婆のような役割を果たすために語り働こう。

石川

## 市民参加で総会開催

### NY報告、被爆者証言など

核戦争を防止する石川医師の会は5月30日に2010年度総会を開催した。毎年、総会時には市民参加の記念行事を行っているが、今年度は62名が参加した。

第一部はNPT再検討会議にむけたニューヨーク行動に参加した4名の会員が、現地の署名活動、「国際行動デー」の集会和パレードの様子、リバーサイドチャーチで行われた公開シンポジウムの様子、初めて入った国連総会議場でのNPT再検討会議傍聴の感動、「反核医師・医学者のつどい」でIPPNNW幹部の話聞いた喜びを報告した。

第二部は被爆者の証言を聞く会で、はじめて聞く会員・市民も多く、深く心にしみこんで反核・平和への決意を新たにした。今年度の活動として、①被爆の実相を学び、拡げる―被爆証言、「はだしのゲン」日本語版・英語版の普及、「原爆の子」映画会・「原爆と人間」パネル展への協力②ICANのさらなる理解と運動へ―IPPNNW世界大会参加、奈良の「つどい」参加、ティルマン・ラフ講演会の開催③憲法九条を守る取り組み―などを決めた。

6月5日のICANの世界同時アクションは百万石



白衣をまとい、核兵器禁止条約の制定を求めて街頭宣伝に向かう会員

## 学生会部会コーナー

### 戦争加害と被害の歴史学ぶ

#### 学生会部会が学習会・長崎

長崎大学医学部5年 加山 恵美奈



6月5・6日に学生会部の企画を長崎で行ったので

その報告をさせて頂きます。テーマは「長崎から平和を学ぶ―加害と被害の歴史を学ぼう―」で、学生の参加者は6名でした。思っていたより学生が集まらず残念でしたが、学生会部会副代表の村さんはなんと秋田からはるばる来てくれて感動しました。

1日目は原爆資料館と岡まさはる記念館を廻った後に原爆症訴訟に関わったことのある牧山さん(長崎民医連)と勉強会、その後交流会をしました。岡まさはる記念館は日本の加害の歴史について詳しく展示してある資料館です。日本の炭鉱に朝鮮人が強制的に連れてこられて過酷な労働を強いられること、侵略した韓国に対して日本語を強制したり反抗する人を見せしめに殺していたことなど、日本人として恥ず

かしくなるような歴史事実を学びました。勉強会でも話題になったのですが、日本の被害の歴史に関しては学校でも多くのことを勉強してきています。しかし、加害の歴史についてどれだけのことを私達は知っているのでしょうか。今まで歴史を一面的にしか見てこなかったのではないかと自身自身を振り返りました。

2日目は早起きして佐世保に向き、現地の平和委員会の下山さんに案内してもらいながら基地巡りを行いました。佐世保は強揚陸艦工セックスなどの米軍艦の母港になっていて米世界戦略の拠点になっていること、基地の弾薬庫と民家が



接していること、将校が住む高級住宅は思いやり予算で建てられていたことを目の当たりにしました。私達日本人の税金が間接的にイラク侵略に使われていること

と、また佐世保の住民は戦後ずっと犠牲を強いられてきたという事実は本当にショックでした。基地に対して「NO」と言える勇気を若者全体で持たなくてはいけない、米の軍事力に依存せずに平和を構築する方法がきつとあるはずだよねと、皆と語り合いました。「せっかく学生会部会を発足したのだから、何かしたいよね」という動機で始めた企画でしたが、普段考えていることを仲間と語り合える貴重な経験ができました。今後の活動の原動力にしていきたいと思います。

## 募金と2010年度会費納入のおねがい

本会は、会員の皆様の会費と募金によって、運営されています。

この夏以降、IPPNNW世界大会(8月・スイス・バーゼル)への参加、第21回反核医師医学者のつどい(9月・奈良)の開催などが予定されています。また、核兵器廃絶への流れをさらに押し進める行動にもとりくんでいきたいと考えています。

つきましては募金へのご協力と早期の会費納入をお願いする次第です。

### 振込先

◇りそな銀行 新都心営業部  
普通 1557502 「反核医師 医学者の集い」

### 郵便振替

00170-7-56764 「反核医師・医学者のつどい」

まつりで街頭活動ができな  
いので、総会前に報告者4  
名を含む7名の会員が白衣  
を着て「核兵器禁止条約の  
制定を求めて」市民にチラ  
シを配布した。また、6月  
5日にはNPT再検討会議  
最終文書を受けて核廃絶に  
むけた具体的なロードマッ  
プを作成するように、核保  
有国の在日大使館に要請書  
を送付した。